

大谷学会

◇研究発表会

十月二十七日(金)午後一時～

於 響流館メディアホール

『安楽集』第十二大門における『十往生経』の引用の意図について

本学講師 マイケル コンウェイ

ペンバリーからチャッツワースへ

— 英国流「人とすみか」—

本学教授 村瀬順子

音楽科における「主体的・対話的で深い学び」

アスクレピオスに鶏を

— ソクラテスの最後の言葉について

本学教授 朴一功

真宗総合研究所

◇委員会

七月十八日(火)午後〇時十五分～

於 博綜館第三会議室

・特別研究員の新規委嘱について

・研究組織の変更について

・その他

十月十六日(月)午後一時～

於 博綜館第四会議室

・『真宗総合研究所研究紀要』第三十五号の編集について

・その他

十二月四日(月)午後一時五分～

於 博綜館第四会議室

・『真宗総合研究所研究紀要』第三十五号投稿論文の査読結果について

・その他

◇二〇一七年度第一回研究員総会

七月二十八日(金)午後四時～

於 慶聞館K二二一教室

於 慶聞館K二二一教室

真宗学会

◇第一回例会

十月二十五日(水)午後二時四十分～

於 尋源講堂

『安楽集』「教興の所由」の一考察

— 「恒に懺悔する人」に着目して—

本学大学院博士後期課程第二学年

三池大地

親鸞の真仏土観—「真仏土卷」『涅槃經』

引文を中心に—

本学大学院博士後期課程第一学年

松岡淳爾

◇修士論文中間発表会

十一月一日(水)午後二時四十分～

於 慶聞館K二〇四教室

「真仏土卷」開頭の意義

— 既にして願有ます— 藤井了興

親鸞の「善導独明仏正意」における仏

の正意とは—「観経疏」に尋ねて—

三輪法顕

如来往還の回向

兒門 敏

真宗における救いのプロセス

— 阿闍世の物語を中心として—

コンウェイ佳代子

◇大会

十一月二日(木)午後三時～

於 尋源講堂

他力の佛道 本学教授 藤嶽明信

親鸞におけるメタファーと解釈

龍谷大学教授 杉岡孝紀

◇第二回例会

十一月十五日(水)午後二時四十分

於 尋源講堂

親鸞の「大行思想」における能所二行論の位置

本学大学院博士後期課程第三学年

後藤海

曇鸞の「一法句」理解について

本学大学院博士後期課程第一学年

池田向一

◇第三回例会

十二月二十二日(水)午後二時四十分

於 尋源講堂

親鸞における「懈慢界」の意義

本学大学院博士後期課程第一学年

樋口大慈

親鸞の「多念」観

―特に「乃至十念」を通して―

本学大学院博士後期課程第一学年

常塚勇哲

◇第四回例会

十一月二十九日(水)午後二時四十分

於 尋源講堂

親鸞の還相回向観

―「還相の利益」に注目して―

本学大学院博士後期課程第一学年

岩田香英

如来の本願力

―「行巻」他力釈を中心に―

本学大学院博士後期課程第一学年

村上無量

◇第五回例会

十二月六日(水)午後二時四十分

於 尋源講堂

『観経』三心と『大経』三信についての

一考察―『愚秃鈔』を中心に―

本学講師 藤元雅文

◇卒業論文中間発表会

十二月七日(木)午後六時

於 慶開館K二〇四教室

宿業の自覚―『歎異抄』を通して―

加来ゼミ 佐々木啓

浄土とはどういう場所か

一楽ゼミ 車田和美

許された疑い―一心たる由縁―

木越ゼミ 榎山遊

凡夫の課題

―「二河白道の譬え」から―

井上ゼミ 藤井通禎

浄土の慈悲―真のやさしさとは―

三木ゼミ 樺村英正

仏 教 学 会

◇研究発表例会

十一月二十日(月)午後四時二十分

於 慶開館K四一〇教室

羅什と姚興との往復書簡

本学准教授 采翠 晃

「順忍」の諸相―初期経典・部派文献・

大乘経典にみられる展開と変容

本学任期制助教 宮崎展昌

◇史跡踏査

十一月二十八日(火)

訪問先・ミホミュージアム

(滋賀県甲賀市)

◇公開講演会

十二月十五日(金)午後四時二十分

於 響流館メディアホール
通説の裏側―文献を読み解く醍醐味

東京外国語大学大学院教授

水野善文

西洋哲学会・倫理学会

◇公開講演会

十一月十六日(木)午後四時二十分

於 尋源講堂

哲学と言語

―哲学はどのように役に立つか―

北海道大学名誉教授 田中享英

宗 教 学 会

◇大拙忌公開講演会

七月六日(木)午後四時二十分

於 慶聞館K二〇八教室

日米生命倫理における言説スタイルの

変化 本学准教授 藤枝 真

社 会 学 会

◇社会学科公開講演会

十一月三十日(木)午後一時

於 二号館二二〇二教室

矯正の現状と課題

京都拘置所長 宮地重光

国史学会・日本仏教史学会

◇大谷大学日本史の会大会・総会

七月二十九日(土)午後一時三十分

於 慶聞館K三〇四教室

・研究発表

大谷大学における初年次教育の現状と

課題

名勝依水園・寧楽美術館 濱田美和子

戦国時代の饗心 櫻井信也

文化財保存修理の現場から

―仏像彫刻を中心に― 藤本青一

・総会

・懇親会

於 慶聞館マルチスペース4F南

◇大谷大学日本史の会十月例会

十月七日(土)午後二時

於 響流館演習室三

親鸞・蓮如・滴之の回向論 駒井 雅

◇大谷大学日本史の会十二月例会

十二月十六日(土)午後二時

於 響流館演習室三

近世後期京都の町の借家事情

―下京福田寺町文書から― 門井慶介

文 藝 学 会

◇公開講演会

七月十一日(火)午後一時

於 響流館メディアホール

中国語教育における「華語」の受容

―中台の語彙差異を中心に考える

本学教授 李 青

題簽の板木

奈良大学名誉教授 永井一彰

◇『文藝論叢』第八十九号発行

(十月A5判五十七ページ)

『清浄法行經』の「懺刻」と「誦讀」

―『佛説尸迦羅越六方禮經』と『佛説

灌頂拔除過罪生死得度經』を参照し

てー

野村卓美

『古事記』における「枯野」伝承

盧 静達

内田百閒『冥途』論―反復する「私」―

三木将彦

国文学会

◇先師法要及び講演会

十月二十一日(土)午後二時

先師法要

於 尋源講堂
導師 石橋義秀

講演会

『高野聖』再読

於 本学講師 安藤香苗

中国文学会

◇卒業論文中間発表会

十一月一日(水)午後二時四十分

於 慶開館K五〇三教室

『白蛇伝』の起源と変化

銭瓶美奈

魯迅と色彩表現

谷元美夢

『彩鳳の夢』を中心に見る台湾の女性劣

働環境について

辻田汐里

『搜神記』の中の鳥たち

西山七海

◇学術公開講演会

十二月十四日(木)午後二時四十分

於 響流館メディアホール

王国維と「勢力不滅論」

―日中学術史の一考察―

同志社大学教授 銭 颯

西洋文学研究会

◇『西洋文学研究』第三十七号発行

(七月二十五日)

〈目次〉

秘密の小箱―エドガー・アラン・ポー

の蒐集譚をめぐる言説― 池末陽子

古代に映る近代―クライスト『ペンテ

レージア』とエウリピデス『バッコ

スの信女』― 廣川智貴

書評・ジェフ・バーリンゲーム著 古

川哲史・三浦誉史加・井上摩紀訳

『走ることは、生きること―五輪金メ

ダリスト ジェシー・オーエンスの

物語― 村瀬順子

◇年次大会

九月十六日(土)午後二時

於 慶開館K二二三教室

①総会

②研究発表

アントワーヌ・ダガタの写真と文章

塚島真実

逃げる男―エドガー・アラン・ポーの

逃亡譚を読む

池末陽子

走れジェシー―J・C・オーエンスの

伝記『走ることは、生きること』の翻

訳・刊行をめぐる

古川哲史

三浦誉史加

井上摩紀

国語教育学会

◇第五回研究大会

十二月九日(土)午後二時

於 五号館五〇一教室

『言語活動の充実』と「主体的・対話的

で深い学び」と

京都府公立小学校教諭 中村智行

教師の類型の社会的・歴史的一考察

本学准教授 田中潤一

人 文 情 報 学 科

◇ゼミ・クラス選書ツアー(柴田ゼミ)

七月一日(土) 午後二時三十分

於 丸善京都本店

◇外部講師をお招きしての

人文情報学演習Ⅰの授業

十月二十七日(金)

情報産業論及びネットワーク論において「ICTによる国(街、村)づくり計画(世界及び日本の取組み)」と題して、ITU-D専門家による講義を実施した。

◇卒業論文中間発表会

十月十七日(火)

十一月二十八日(火)

より実りある内容とするため、卒業論文中間発表会を各々のゼミの時間に実施した。第四学年だけではなく、卒論のテーマを今後決める第三学年、第三学年からのゼミを選択する第二学年の参加も得て、多くの質問が出された。

◇きよものデザイン講座

十一月一日(水) 午後四時二十分

於 慶応館K三二四教室

京都産業会館との共催で、友禪作家であり京都市立芸術大学同窓会「象の会」代表幹事の野崎邦夫氏にきよものデザインについてご講演いただいた。

◇ワークショップ

「人文情報学研究の最前線2017」
十二月十六日(土) 午前10時

於 響流館マルチメディア演習室

session1 座長：山本貴子、三宅伸一郎
歴史史料・図像等の文化資源よりみた
アブラナ科植物の形質等の変異に関する萌芽的研究

武田和哉(大谷大学)

渡辺正夫(東北大学)

吉川真司(京都大学)

大谷大学所蔵稀観チベット語文献・シヤクリンパ著『プラサンナパダー注』の価値
三宅伸一郎(大谷大学)

Thupen Gawa(大谷大学)

Malatesta Novello: その時代・Biblioteca

Malatestiana ~ Malatesta Novello

山本貴子(大谷大学)

Session2 座長：上田敏樹

本邦における紋章研究の諸問題

柴田みゆき(大谷大学)

人文情報学科学生らによるプロジェクト
シヨンマッピング作品とコンテスト
への出展と障碍支援施設
―天才アートとの関わり

倉光延行(大谷大学)

Session3 座長：柴田みゆき

ピーコンを利用した大学ガイド

平澤泰文(大谷大学)

ストーリーに基づくインタラクティブな情報探索モデル
酒井恵光(大谷大学)

Session4 座長：酒井恵光

ウェアラブル端末、タブレット端末、

クラウドサービス、オープンエラー

ニングサービス、LMSを利用した

IOTキャンパスにおける教育事例

上田敏樹(大谷大学)

池田佳和(大谷大学)

イノベーションにおけるメタエンジン

アリングの場の働き

小松康俊（日本経済大学）

鈴木 浩（日本経済大学）

池田佳和（大谷大学）

◇3Dプリンターに関する講演

十二月二十一日（木）午後一時～

「人文情報学概論」内にて、株式会社リコーより講師をお招きし、3Dプリンターの現状と将来について、実演を含めご講演いただいた。

短期仏教科

◇第二学年卒業研究中間発表一夜研修会

九月十四日（木）～十五日（金）

於 湖西キャンパスセミナーハウス

第二学年の一夜研修会を開催。十一月三十日の卒業研究の提出に向けて、中間発表会と、教員を交えての懇談会を行った。

◇第二学年卒業研究中間報告会（第二回）

十月二十六日（木）

於 学内

第二学年の卒業研究にかんする中間報

告会（第二回）を開催。十一月三十日の卒業研究の提出に向けて、第二回目の中間報告を行った。

幼児教育保育科

◇第三十二回幼教フェスティバル

十二月十七日（日）午前十時三十分～

於 講堂

今回のテーマは「繋ぐ！それぞれの想いを一つに」。大谷幼稚園の園児や近隣の子どもたちを招待し、第二学年クラスごとの総合表現の舞台に加え、吹奏楽演奏、二学年合同のゼミ、ことでの出し物、合唱を発表。会場入口には、第一学年が製作した手作りおもちゃ等が置かれ、子どもたちに実際に遊んでもらう経験もできた。

学生会員 投稿規程

1. 本学会学生会員で、『大谷学報』に論文の掲載を希望するものは、指導教員の推薦状を添えて投稿できる（一六〇〇〇字以内とする）。
2. 投稿された論文は、審査を経て採否が決定される。
3. 論文の審査は、編集委員および編集委員が選任委嘱する審査委員（若干名）によって行われる。
4. 審査の結果は左記の通りとし、②③の場合には、投稿者にその理由を通知する。
 - ① 採用
 - ② 条件付き採用（修正がなされた場合採用）
 - ③ 不採用
5. この規程は、『大谷学報』第八十九卷第一号より適用される。

